

教育総務課インタビュー結果

学校関連

取り組み案	問題点など	インタビュー結果
学校図書館図書標準全校達成	<ul style="list-style-type: none"> ・書架スペースの問題がある。 ・中央図書館からの特別団体貸出を現在行っているため、この冊数を盛り込んだ上での取り組みとして捉えている。 	左案の特別団体貸出を含むのであれば可能。
学校司書の配置	現在、学校連携事業として、中央図書館から嘱託職員2名が各学校を訪問している。この事業とは別に司書を配置することは可能か。	両方の配置は難しいため、各学校からの評判が良く、実績のある学校連携司書の事業拡大により、学校司書の役割を担うものとしたい。
司書教諭の配置	配置の促進を計画することが可能か。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館法により定められているため、人数を増やすことは難しい。 ・司書教諭もクラスを受け持っているので、図書館に常勤することは難しい。 →取り組み案として入れない。
学校連携司書の増員について	人数の確保、それぞれの学校への訪問回数の増加が求められている。	北中学校の開校もあることから、増員について検討する必要がある。
学校連携事業における特別団体貸出について	(中央図書館側の課題) 本の運搬について…人員体制 予算…学校専用図書購入費の継続	今後も続ける。
学校連携事業における連携会議について	現在、年1回程度、中央図書館に担当司書教諭に集まってもらっている。	今後も続ける。